

【評価等】

＜単位認定の方針・成績評価・成績分布について＞

1. 単位

本校では、各授業科目につき単位を設定し、各科目の成績が合格の場合にはその単位を修得することができる。

単位とは、学習時間を表す名称であり、一定の基準によって各科目ごとに定められています。

2. 単位認定の方針

本校では、単に各科目の定期試験等の成績が良いだけでは単位認定をせず、当該科目の出席状況、課題提出、授業態度、確認テスト、定期試験、検定試験等を総合的に判断して成績評価をし、その成績評価に基づいて単位認定をします。

3. 単位認定の要件

授業科目の単位は、総合評価による点数が100点満点中50点以上の評価を得たときに認定されます。

4. 成績評価基準

(1) 評価の対象と基準

成績評価の対象には、①定期試験、②確認テスト、③検定試験結果、対策等答練(問題演習)の点数、④出席率、⑤授業態度、⑥その他、があります。

これらの対象を、たとえば、①6割、②1割、③1割、④1割、⑤1割等として配分して、100点満点で評価します。

これらの配分は、授業開始時に学生に告知します。

(2) 成績の評価

判定	合格				不合格
評価	100点～90点	89点～80点	79点～60点	59点～50点	49点以下
	秀	優	良	可	不可

5. 客観的な指標に基づく成績分布

本校ではGPA(Grade Point Average)を導入し、各授業の評価を100点満点を基準として、50点以上を合格とし、合格者の中でも、評価点数により100～90点をS(秀)、89～80点をA(優)、79～60点をB(良)、59～50点をC(可)とする。また、49点以下の不合格者をD(不可)として、成績を通知する。

そして、各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1単位あたりの平均成績を算出することで個人ごとの客観的な指標を算出する。各成績は秀(4点)、優(3点)、良(2点)、可(1点)に換算する。そこで、GPAは(秀の単位数×4+優の単位数×3+良の単位数×2+可の単位数×1)の合計を、各学生が履修済みの総単位数で除した数として算出する。